

東京都立北豊島工科高等学校全日制課程 グランドデザイン

<p>【生徒／学校の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力の定着度が低く、基本的生活習慣が身についていない生徒が多い。生活指導を中心とした各指導が必要。 ・自尊感情が低かったり、規範意識が低かったりして、十分に力を発揮できない生徒が多い。 ・主体的に進路選択・決定するなどの自己実現に向けた力が弱い。 <p>【予想される社会の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工知能等の技術の急速な進化と情報技術の飛躍的な進化によるグローバル化。産業や社会構造の変革。 ・知識を活用し創造できる人や超スマート社会で自律できる人が求められる。 	<p>【教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自治」自ら課題を見つけ、解決する力を養うとともに、社会生活を自主的に営むことができる人間を育てる。 ・あきらめない指導、あきらめさせない指導を通して、自己肯定感を高め、創造性に富む人間を育てる。 ・基本的な生活習慣とともに社会に役立つ確かな学力を身に付ける。 <p>【学校像/学校経営計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、保護者及び地域が一致協力し、生徒の自尊感情を高めながら知・徳・体のバランスのとれた人材を育成する。 ・学校の各活動を通して自己有用感を育て、社会参画できる人材を育成する。
--	---

<p>【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に柔軟な対応ができ、様々な分野で活躍できる専門性を有した人材の育成 ・社会の一員として貢献できる人間の育成

<p>【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】</p> <p>○自律的に学習できる力の育成 集中力・理解力・記憶力を伸ばす学習指導の実践</p> <p>○お互いを思いやる気持ちをもち、適切にコミュニケーションを図る力の育成 異なる意見も傾聴し、異なる価値観を理解しつつ、自らの考えを自分の言葉で相手に分かるように伝える姿勢をもたせる教育の実践</p> <p>○安易に妥協したりあきらめたりせず、やればできると信じて行動する力の育成 生徒の能力や適性を分析し、高い目標に挑む気力・知力・体力を育てる教育の実践</p> <p>○他人から与えられたことをするだけでなく、自分や相手に対する思いやりをもち、積極的に考え、創意工夫する力の育成 部活動・生徒会活動・学校行事等を通して、生徒の自治能力向上を目指した取組を推進</p> <p>○工業技術に関する専門的知識・技能を習得し、職業的な専門性を備えて社会に貢献できる基本的生活態度や自律的行動を育成</p>

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくループリック】

育成すべき資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3	目指すべき生徒の将来像
知識・技能	基礎学力	中学校終了レベル 基礎的知識・技能を基礎レベルで習得。	高校入門レベル 身に付けた知識・技能を活用して表現ができる。	高校標準レベル 身に付けた知識・技能を応用することができる。各資格試験、就職・進学試験合格レベル。	社会の一員として貢献できる人間の育成
	専門的な知識と技能	授業規律を守り、学習することができる。 (与えられた学習をする)	授業や実習に、積極的に取り組むことができる。 (意欲的に学習をする)	学んだ知識や技能を生かして主体的に課題を発見し、取り組むことができる。 (発展的に学習をする)	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション力	他の人の話を集中してよく聞き、理解することができる。 自己の価値観を認識する。	自分の意見を自分の言葉で的確に表現することができる。また、相手の意見を共感しながら聞くことができる。 他者の価値観を認識・理解する。	相手の意見をよく聴いた上で、自分との違いや共通点を理解し、建設的に話し合いを進めることができる。 新しい価値観を構築できる。	社会の一員として貢献できる人間の育成
	場をわきまえて行動する力（判断力）	善悪の判断ができる。 指示や約束、役割の意味を理解して行動できる。	場所や状況など、TPOをわきまえた行動ができる。約束や役割に責任をもって主体的に行動できる。	主体的に考え、見通しをもって計画・行動することができる。他人と役割を分担し、自己の責任を果たすことができる。	
学びに向かう力・人間性	規範意識	教員の指示に従って、ルールを守って活動することができる。	教員に相談しながら、ルールを守って活動することができる。規則やルールの意義を理解して行動できる。	自らルールを決めて、適宜教員の助言を受けながらその周知徹底を図ることができる。他者や集団に働きかけることができる。	社会の一員として貢献できる人間の育成
	課題解決力	各種検査等から自分自身の傾向や適性等を把握することができる。	自身の将来の生き方・在り方を考え、今何が必要なのか調べて実行に移すことができる。	進路実現に向けて、果敢にチャレンジし、最後まであきらめずに取り組むことができる。	
	協働力	課題研究の時間、職業調べ等	課題研究の時間、学校外の学修（インターンシップ）等	課題研究の時間、志望校又は企業決定、入学者選抜・就職試験の受験等	